

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成23年5月分)

大 阪 市 港 湾 局

大阪湾広域臨海環境整備センター

## 目 次

### 事後調査の概要

- 1．調査概要 - 1
- 2．工事の実施状況 - 3
- 3．調査結果の概要 - 4

### 事後調査結果

- 1．水質 - 1
- 2．陸域生態系（鳥類） - 4

## 事後調査の概要

## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成23年5月分の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要(平成23年5月分)

### - 1 放流水、内水及び護岸外周(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
健康項目等 カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 ほう素 ふっ素 アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)	放流水 1点 内水 1点 (処理原水) 護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	放流水、内水 5月10日  護岸外周 5月10日	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
1,4-ジオキサン ダイオキシン類	1,4-ジオキサンは護岸外周のみ調査 ダイオキシン類は上層のみ調査	放流水 5月10日 内水  護岸外周	放流水 4回/年 (5月、8月、11月、2月) 内水 2回/年 (8月、2月) 護岸外周 1回/年 (8月)

### (6) 陸域生態系(鳥類)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 [a、b、c、d]	5月16日	4回/年 (5月、6月、8月、2月) (2年おきに実施)

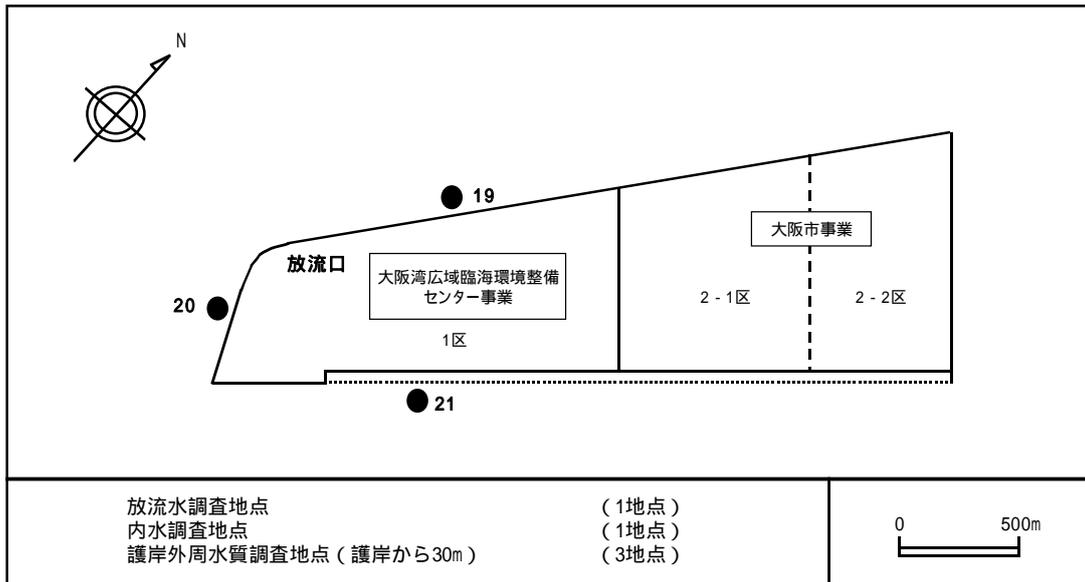


図 - 1(1) 水質の調査地点(埋立中:放流水、内水及び護岸外周) (平成 23 年 5 月分 )

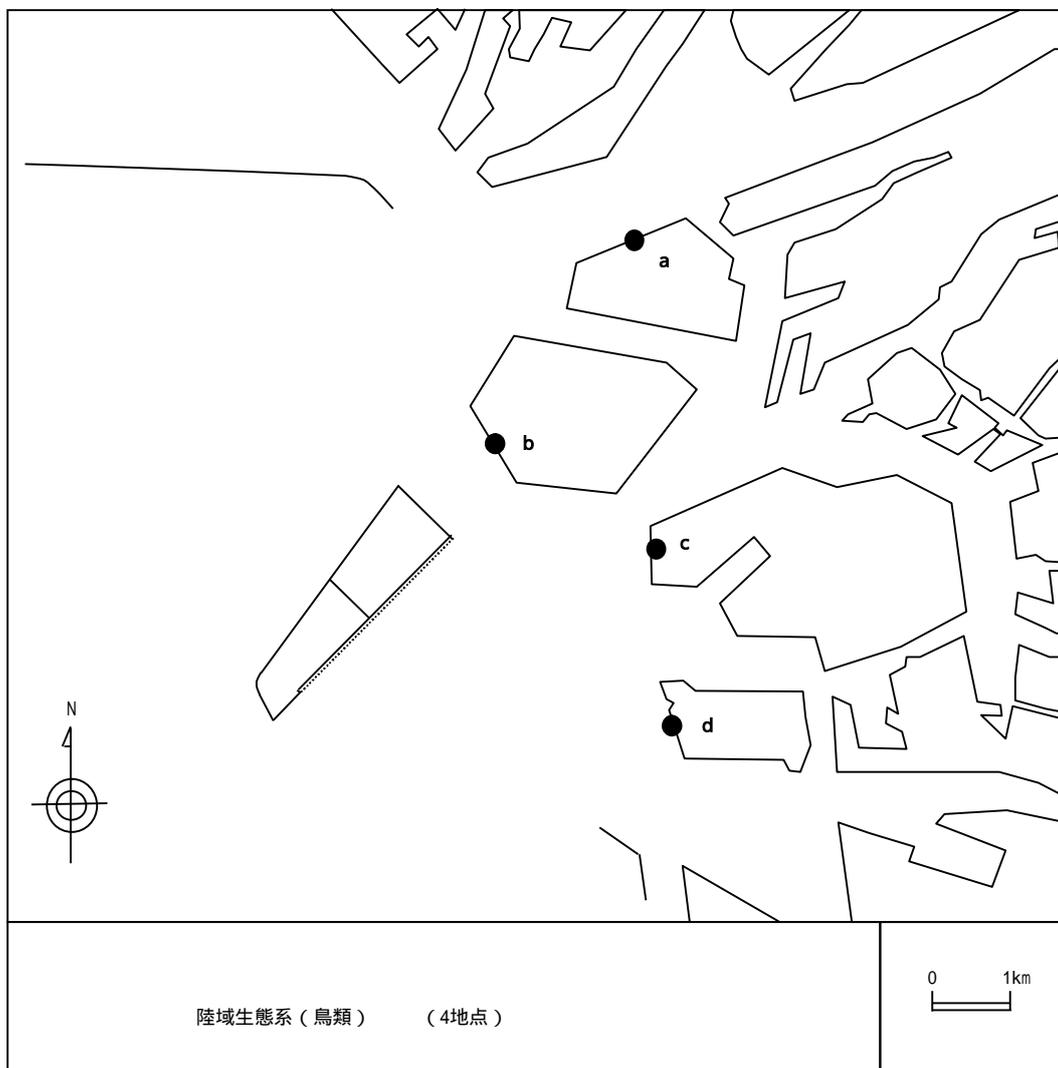
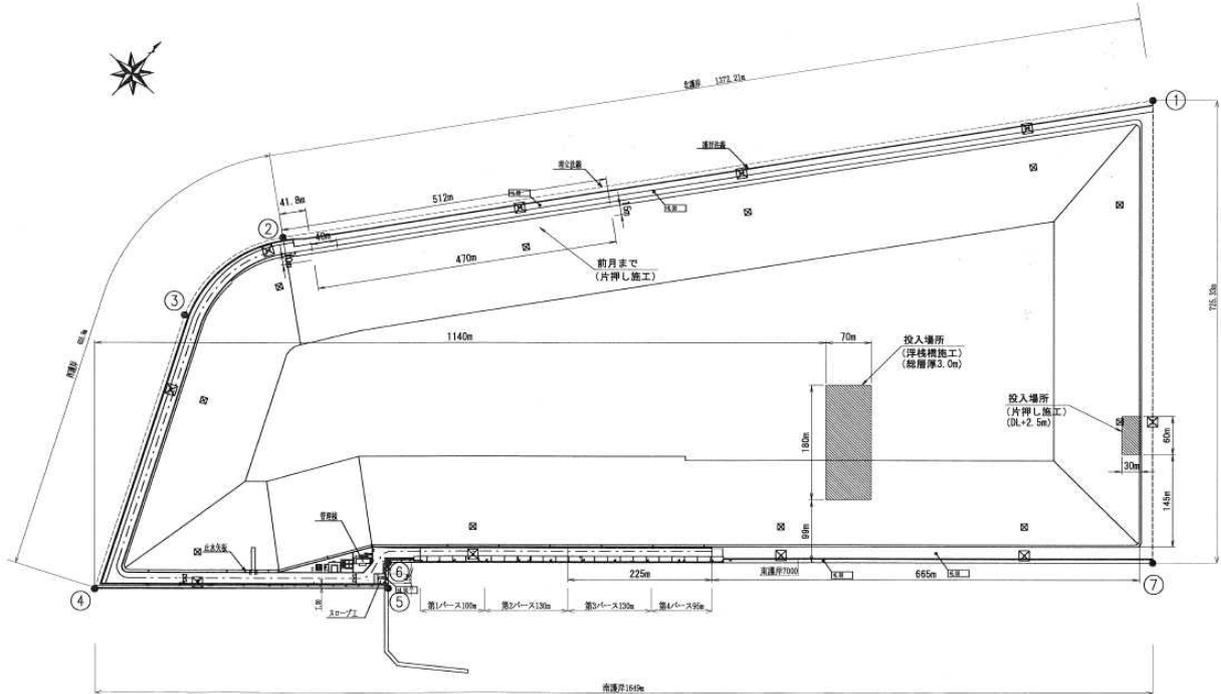


図 - 1(2) 陸域生態系(鳥類)の調査地点 (平成 23 年 5 月分 )

## 2. 工事の実施状況

平成 23 年 5 月の工事の実施状況は、図 - 2 に示すとおりである。

平成 23 年 5 月度埋立施工実績



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
1,048,655	7.5

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図 - 2 工事の実施状況 (平成 23 年 5 月)

### 3 . 調査結果の概要

( 1 ) 水質 ( 放流水、内水及び護岸外周 ) [ 水質様式第 11、13、14 号 ]

#### 1)放流水

砒素は 0.006mg/L であった。

陰イオン界面活性剤は 0.13mg/L であった。

ほう素は 8.3mg/L であった。

ふっ素は 5.3mg/L であった。

アンモニア等 ( アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 ) は 1.2mg/L であった。

ダイオキシン類は 0.025pg-TEQ/L であった。

上記以外の調査項目については、いずれも報告下限値未満であった。

放流水の基準値の定められている項目は、いずれも基準値以下であった。

#### 2)内水

砒素は 0.005 mg/L であった。

溶解性マンガンは 0.05 mg/L であった。

陰イオン界面活性剤は 0.14 mg/L であった。

ほう素は 8.2mg/L であった。

ふっ素は 5.3mg/L であった。

アンモニア等 ( アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 ) は 0.8mg/L であった。

上記以外の調査項目については、いずれも報告下限値未満であった。

#### 3)護岸外周

ほう素は上層で 2.8 ~ 2.9mg/L の範囲であり、下層で 3.0 ~ 3.1mg/L の範囲であった。

ふっ素は上層でいずれも 1.0mg/L であり、下層で 1.0 ~ 1.1mg/L の範囲であった。

アンモニア等 ( アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 ) は上層で 0.03 ~ 0.06mg/L の範囲であり、下層で 0.04 ~ 0.07mg/L の範囲であった。

上記以外の調査項目については、いずれも報告下限値未満であった。

環境基準値等の定められている項目は、全調査地点における上層、下層共に、いずれも基準値以下であった。

(2) 陸域生態系(鳥類) [陸域生態系(鳥類)様式第1～3号(埋立地関連)]

鳥類の出現種類数は、4地点合計で9目21科40種であった。

調査地点別の出現個体数についてみると、調査地点bが最も多く306羽であり、次いで調査地点cの141羽、調査地点dの97羽、調査地点aの58羽の順であった。また、調査地点別の出現種類数についてみると、調査地点bが最も多く23種であり、次いで調査地点cの22種、調査地点aの17種、調査地点dの16種の順であった。

個体数が最も多かった調査地点bにおける主要な出現種はコアジサシ(チドリ目カモメ科)、カワウ(ペリカン目ウ科)、カルガモ(カモ目カモ科)、ホシハジロ(カモ目カモ科)、マガモ(カモ目カモ科)であった。

事業実施前(平成10年5月:調査地点の位置は、平成23年度調査の調査地点に同じ)に実施した鳥類調査の結果は、4地点合計で10目21科37種であり、同程度の結果であった。

《 参 考 》 環境基準等（本報告関係分）

1. 規制基準等

水質（健康項目・放流水）

調査項目	基準値 <sup>注1)</sup>	管理目標値 <sup>注2)</sup>	報告下限値
カドミウム	0.1mg/L以下		0.005mg/L
全シアン	1mg/L以下		0.025mg/L
鉛	0.1mg/L以下		0.01mg/L
六価クロム	0.5mg/L以下		0.02mg/L
砒素	0.1mg/L以下		0.005mg/L
総水銀	0.005mg/L以下		0.0005mg/L
アルキル水銀	検出されないこと		0.0005mg/L
P C B	0.003mg/L以下		0.0005mg/L
ジクロロメタン	0.2mg/L以下		0.002mg/L
四塩化炭素	0.02mg/L以下		0.002mg/L
1,2-ジクロロエタン	0.04mg/L以下		0.002mg/L
1,1-ジクロロエチレン	0.2mg/L以下		0.002mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg/L以下		0.002mg/L
1,1,1-トリクロロエタン	3mg/L以下		0.002mg/L
1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg/L以下		0.002mg/L
トリクロロエチレン	0.3mg/L以下		0.002mg/L
テトラクロロエチレン	0.1mg/L以下		0.002mg/L
1,3-ジクロロプロペン	0.02mg/L以下		0.002mg/L
チウラム	0.06mg/L以下		0.006mg/L
シマジン	0.03mg/L以下		0.003mg/L
チオベンカルブ	0.2mg/L以下		0.02mg/L
ベンゼン	0.1mg/L以下		0.002mg/L
セレン	0.1mg/L以下		0.005mg/L
フェノール類	5mg/L以下		0.025mg/L
銅	3mg/L以下		0.02mg/L
亜鉛	2mg/L以下		0.02mg/L
溶解性鉄	10mg/L以下		0.02mg/L
溶解性マンガン	10mg/L以下		0.01mg/L
全クロム	2mg/L以下		0.02mg/L
陰イオン界面活性剤		-	0.01mg/L
有機燐	1mg/L以下		0.05mg/L
ほう素	230mg/L以下		0.01mg/L
ふっ素	15mg/L以下		0.1mg/L
アンモニア等 <sup>注3)</sup>	200mg/L以下	100mg/L以下	0.3mg/L
ダイオキシン類	10pg-TEQ/L以下		JIS K 0312による。

注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一（ダイオキシン類については、ダイオキシン類対策特別措置法施行規則別表第二）より抜粋。

2. 管理目標値は、事後調査計画における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

3. 「アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸性化合物及び硝酸化合物」を示す。

排水基準値は、アンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量が200mg/L以下であることを示す。なお、各測定値のいずれもが報告下限値未満（<0.1mg/L）の場合、合計値は報告下限値未満（<0.3mg/L）とする。各測定値のいずれかが報告下限値以上の場合は、報告下限値未満の測定値については、報告下限値を測定値として合算を行う。

水質（護岸外周）

調査項目	基準値 <sup>注1)</sup>	環境保全目標値 <sup>注2)</sup>	報告下限値
カドミウム (Cd)	0.01mg/L以下		0.001mg/L
全シアン (CN)	検出されないこと		0.1mg/L
鉛 (Pb)	0.01mg/L以下		0.002mg/L
六価クロム (Cr6+)	0.05mg/L以下		0.01mg/L
砒素 (As)	0.01mg/L以下		0.001mg/L
総水銀 (T-Hg)	0.0005mg/L以下		0.0005mg/L
アルキル水銀	検出されないこと		0.0005mg/L
P C B	検出されないこと		0.0005mg/L
ジクロロメタン	0.02mg/L以下		0.002mg/L
四塩化炭素	0.002mg/L以下		0.0002mg/L
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下		0.0004mg/L
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下		0.002mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下		0.004mg/L
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下		0.0005mg/L
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下		0.0006mg/L
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下		0.002mg/L
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下		0.0005mg/L
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下		0.0002mg/L
チウラム	0.006mg/L以下		0.0006mg/L
シマジン	0.003mg/L以下		0.0003mg/L
チオベンカルブ	0.02mg/L以下		0.002mg/L
ベンゼン	0.01mg/L以下		0.001mg/L
セレン (Se)	0.01mg/L以下		0.002mg/L
フェノール類	-	0.01mg/L以下	0.005mg/L
銅 (Cu)	-	0.02mg/L以下	0.005mg/L
亜鉛 (Zn)	-	0.1mg/L以下	0.001mg/L
溶解性鉄 (sol-Fe)		-	0.08mg/L
溶解性マンガン (sol-Mn)		-	0.01mg/L
全クロム (T-Cr)	-	1.0mg/L以下	0.03mg/L
陰イオン界面活性剤 (MBAS)	-	0.1mg/L以下	0.01mg/L
有機リン		-	0.1mg/L
ほう素	海域については基準値は適用しない		0.1mg/L
ふっ素 (F)	海域については基準値は適用しない		0.1mg/L
アンモニア等 <sup>注3)</sup>		-	0.09mg/L
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下		0.005mg/L
ダイオキシン類	1pg-TEQ/L以下		JIS K 0312による

注) 1. 護岸外周の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第二（ほう素、ふっ素、1,4-ジオキサン及びダイオキシン類については環境基準）より抜粋。

2. 環境保全目標値は、「大阪湾の水質等に係る環境保全目標（大阪府）」を示す。

3. 「アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸性化合物及び硝酸性化合物」を示す。

測定結果は、アンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量とし、各測定値のいずれもが報告下限値未満（アンモニア性窒素：<0.01mg/L、亜硝酸性窒素：<0.04mg/L、硝酸性窒素：<0.04mg/L）の場合、合計値は報告下限値未満（<0.09mg/L）とする。各測定値のいずれかが報告下限値以上の場合、報告下限値未満の測定値については、報告下限値を測定値として合算を行う。

## 事後調查結果

水質様式第11号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水、内水）[平成23年5月分]

調査日：平成23年5月10日

項目	区分	
	放流水	内水
時刻	10:00	10:30
カルシウム [mg/L]	<0.005	<0.005
全窒素 [mg/L]	<0.025	<0.025
鉛 [mg/L]	<0.01	<0.01
六価クロム [mg/L]	<0.02	<0.02
砒素 [mg/L]	0.006	0.005
総水銀 [mg/L]	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀 [mg/L]	<0.0005	<0.0005
PCB [mg/L]	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン [mg/L]	<0.002	<0.002
四塩化炭素 [mg/L]	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン [mg/L]	<0.002	<0.002
1,1-ジクロロエチレン [mg/L]	<0.002	<0.002
トリス(1,2-ジクロロエチレン) [mg/L]	<0.002	<0.002
1,1,1-トリクロロエタン [mg/L]	<0.002	<0.002
1,1,1,2-テトラクロロエタン [mg/L]	<0.002	<0.002
トリクロロエチレン [mg/L]	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン [mg/L]	<0.002	<0.002
1,3-ジクロロプロパン [mg/L]	<0.002	<0.002
チオラム [mg/L]	<0.006	<0.006
シマジン [mg/L]	<0.003	<0.003
チオベンソール [mg/L]	<0.02	<0.02
ベンゼン [mg/L]	<0.002	<0.002
トルエン [mg/L]	<0.005	<0.005

項目	区分	
	放流水	内水
フェノール類 [mg/L]	<0.025	<0.025
銅 [mg/L]	<0.02	<0.02
亜鉛 [mg/L]	<0.02	<0.02
溶解性鉄 [mg/L]	<0.02	<0.02
溶解性マンガן [mg/L]	<0.01	0.05
全クロム [mg/L]	<0.02	<0.02
陰イオン界面活性剤 [mg/L]	0.13	0.14
有機燐 [mg/L]	<0.05	<0.05
ほう素 [mg/L]	8.3	8.2
ふっ素 [mg/L]	5.3	5.3
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 [mg/L]	1.2	0.8
アンモニア性窒素 × 0.4 [mg/L]	<0.1	<0.1
亜硝酸性窒素 [mg/L]	<0.1	0.2
硝酸性窒素 [mg/L]	1.0	0.5
ダイオキシン類 [pg-TEQ/L]	0.025	-

特記事項

水質様式第13号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 - 廃棄物処分場護岸外周） [平成23年5月分]

調査日：平成23年5月10日

項目	調査点			最小値	～	最大値	平均値
	19	20	21				
時刻	14:15	14:00	13:40	-			-
カドミウム [mg/L]	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	～	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001
全シアン [mg/L]	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	～	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1
鉛 [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	～	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
六価クロム [mg/L]	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	～	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01
砒素 [mg/L]	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	～	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001
総水銀 [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	～	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005
アルキル水銀 [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	～	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005
PCB [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	～	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005
ジクロロメタン [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	～	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
四塩化炭素 [mg/L]	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	～	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002
1,2-ジクロロエタン [mg/L]	<0.0004 <0.0004	<0.0004 <0.0004	<0.0004 <0.0004	<0.0004 <0.0004	～	<0.0004 <0.0004	<0.0004 <0.0004
1,1-ジクロロエチレン [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	～	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
トリス-1,2-ジクロロエチレン [mg/L]	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004	～	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004
1,1,1-トリクロロエタン [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	～	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005
1,1,2-トリクロロエタン [mg/L]	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	～	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006
トリクロロエチレン [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	～	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
テトラクロロエチレン [mg/L]	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005	～	<0.0005 <0.0005	<0.0005 <0.0005
1,3-ジクロロプロパン [mg/L]	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002	～	<0.0002 <0.0002	<0.0002 <0.0002
チラム [mg/L]	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006	～	<0.0006 <0.0006	<0.0006 <0.0006
シマジン [mg/L]	<0.0003 <0.0003	<0.0003 <0.0003	<0.0003 <0.0003	<0.0003 <0.0003	～	<0.0003 <0.0003	<0.0003 <0.0003
チオペンタール [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	～	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
ペンゼン [mg/L]	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	～	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001
セレン [mg/L]	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002	～	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

水質様式第14号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 - 廃棄物処分場護岸周辺） [平成23年5月分]  
調査日：平成23年5月10日

項目	調査点			最小値	～	最大値	平均値
	19	20	21				
時刻	14:15	14:00	13:40		-		-
フェノール類 [ mg/L ]	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	～ ～	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005
銅 [ mg/L ]	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	～ ～	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005
亜鉛 [ mg/L ]	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001	～ ～	<0.001 <0.001	<0.001 <0.001
溶解性鉄 [ mg/L ]	<0.08 <0.08	<0.08 <0.08	<0.08 <0.08	<0.08 <0.08	～ ～	<0.08 <0.08	<0.08 <0.08
溶解性マンガン [ mg/L ]	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	～ ～	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01
全カドミウム [ mg/L ]	<0.03 <0.03	<0.03 <0.03	<0.03 <0.03	<0.03 <0.03	～ ～	<0.03 <0.03	<0.03 <0.03
陰イオン界面活性剤 [ mg/L ]	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	～ ～	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01
有機燐 [ mg/L ]	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1	～ ～	<0.1 <0.1	<0.1 <0.1
ほう素 [ mg/L ]	2.8 3.0	2.9 3.1	2.9 3.0	2.8 3.0	～ ～	2.9 3.1	2.9 3.0
ふっ素 [ mg/L ]	1.0 1.1	1.0 1.1	1.0 1.0	1.0 1.0	～ ～	1.0 1.1	1.0 1.1
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 [mg/L]	0.06 0.05	0.03 0.07	0.03 0.04	0.03 0.04	～ ～	0.06 0.07	0.04 0.05
アンモニア性窒素 × 0.4 [ mg/L ]	0.05 0.02	0.02 0.05	0.02 0.03	0.02 0.02	～ ～	0.05 0.05	0.03 0.03
亜硝酸性窒素 [ mg/L ]	<0.04 <0.04	<0.04 <0.04	<0.04 <0.04	<0.04 <0.04	～ ～	<0.04 <0.04	<0.04 <0.04
硝酸性窒素 [ mg/L ]	0.01 0.03	0.01 0.02	0.01 0.01	0.01 0.01	～ ～	0.01 0.03	0.01 0.02
1,4-ジ* 枠物 [ mg/L ]	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005	～ ～	<0.005 <0.005	<0.005 <0.005

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------

陸域生態系（鳥類）様式第1号（埋立地関連）

陸域生態系（鳥類）調査結果（種別出現状況）[平成23年5月]

調査日：平成23年5月16日

目	科	種	区分	地点別出現個体数				
				a	b	c	d	計
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	留鳥		1	1		2
ペリカン	ウ	カワウ	留鳥	3	34	6	19	62
コウノトリ	サギ	チュウサギ	旅鳥			2		2
		コサギ	留鳥			4		4
		アオサギ	留鳥		1	7		8
カモ	カモ	マガモ	冬鳥		9			9
		カルガモ	留鳥	2	21	5		28
		ハシビロガモ	冬鳥			1		1
		ホシハジロ	冬鳥		15			15
		キンクロハジロ	冬鳥		4			4
		ホオジロガモ	冬鳥		5			5
タカ	タカ	ミサゴ	留鳥		1		2	3
ツル	クイナ	バン	留鳥		2			2
チドリ	チドリ	コチドリ	夏鳥	7	1	5		13
		イカルチドリ	留鳥			1		1
		シロチドリ	留鳥	2	2	12		16
		メダイチドリ	旅鳥			3		3
	シギ	キョウジョシギ	旅鳥	4	1			5
		トウネン	旅鳥			56		56
		ハマシギ	冬鳥	1			7	8
		キアシシギ	旅鳥		4	16	1	21
		チュウシャクシギ	旅鳥	5				5
	カモメ	カモメ	冬鳥	1	8		2	11
		アジサシ	旅鳥		8		2	10
		コアジサシ	夏鳥	15	180	3	7	205
ハト	ハト	キジバト	留鳥				2	2
スズメ	ヒバリ	ヒバリ	留鳥	1	1			2
	ツバメ	ツバメ	夏鳥	2	2	2	3	9
	セキレイ	ハクセキレイ	留鳥		2		1	3
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	留鳥	4				4
	ツグミ	イソヒヨドリ	留鳥			2		2
	ウグイス	オオヨシキリ	夏鳥			1		1
		セッカ	留鳥	1	1	1		3
	ホオジロ	ホオジロ	留鳥	1	1	1	1	4
	アトリ	カワラヒワ	留鳥 (一部冬鳥)	2				2
	ハタオリドリ	スズメ	留鳥	4	2		1	7
	ムクドリ	ムクドリ	留鳥			6	1	7
	カラス	ハシボソガラス	留鳥				1	1
		ハシブトガラス	留鳥	3		2	43	48
(ハト)	(ハト)	(ドバト)	-			4	4	8
合計（9目21科40種）			目数	4	8	6	5	9
			科数	13	15	13	11	21
			種類数	17	23	22	16	40
			個体数	58	306	141	97	602

注) 1. 種名および区分は、大阪府鳥類目録2001（2002年（財）日本野鳥の会大阪支部）に準拠した。

2. ドバトは外来種であるため、目名、科名および種名に（ ）を付記した。

3. ハト目ハト科については、重複を除いて集計を行なった。

陸域生態系（鳥類）様式第2号（埋立地関連）

陸域生態系（鳥類）調査結果（主な出現種の構成割合）[平成23年5月分]

調査日：平成23年5月16日

区分		地点別出現個体数				
		a	b	c	d	計
出現 状況	目	4	8	6	5	9
	科	13	15	13	11	21
	種	17	23	22	16	40
出現個体数		58	306	141	97	602
主な出現種  (個体数、 組成比率)	コアジサシ (15羽、25.9%)	コアジサシ (180羽、58.8%)	トウネン (56羽、39.7%)	ハシブトガラス (43羽、44.3%)	コアジサシ (205羽、34.1%)	
	コチドリ (7羽、12.1%)	カワウ (34羽、11.1%)	キアシシギ (16羽、11.3%)	カワウ (19羽、19.6%)	カワウ (62羽、10.3%)	
	チュウシャクシギ (5羽、8.6%)	カルガモ (21羽、6.9%)	シロチドリ (12羽、8.5%)	ハマシギ (7羽、7.2%)	トウネン (56羽、9.3%)	
	キョウジョシギ (4羽、6.9%)	ホシハジロ (15羽、4.9%)	アオサギ (7羽、5.0%)	コアジサシ (7羽、7.2%)	ハシブトガラス (48羽、8.0%)	
	ヒヨドリ (4羽、6.9%)	マガモ (9羽、2.9%)	カワウ (6羽、4.3%)	(ドバト) (4羽、4.1%)	カルガモ (28羽、4.7%)	
	スズメ (4羽、6.9%)		ムクドリ (6羽、4.3%)			

注) 1. 表中の主な出現種は、各地点別の優占種上位5種を示した。

2. ドバトは外来種であるため、( )を付記した。

3. ハト目ハト科については、重複を除いて集計を行なった。

陸域生態系（鳥類）様式第3号（埋立地関連）

陸域生態系（鳥類）調査結果（科別出現状況）[平成23年5月]

調査日：平成23年5月16日

調査地点		a	
順位	科名	種数	優占率 (個体数%)
1	カモメ	2	27.6
2	シギ	3	17.2
3	チドリ	2	15.5
4	ヒヨドリ	1	6.9
	ハタオリドリ	1	6.9
6	ウ	1	5.2
	カラス	1	5.2
8	カモ	1	3.4
	ツバメ	1	3.4
	アトリ	1	3.4
11	ヒバリ	1	1.7
	ウグイス	1	1.7
	ホオジロ	1	1.7

調査地点		b	
順位	科名	種数	優占率 (個体数%)
1	カモメ	3	64.1
2	カモ	5	17.6
3	ウ	1	11.1
4	シギ	2	1.6
5	チドリ	2	1.0
6	クイナ	1	0.7
	ツバメ	1	0.7
	セキレイ	1	0.7
	ハタオリドリ	1	0.7
10	カイツブリ	1	0.3
	サギ	1	0.3
	タカ	1	0.3
	ヒバリ	1	0.3
	ウグイス	1	0.3
	ホオジロ	1	0.3

調査地点		c	
順位	科名	種数	優占率 (個体数%)
1	シギ	2	51.1
2	チドリ	4	14.9
3	サギ	3	9.2
4	ウ	1	4.3
	カモ	2	4.3
	ムクドリ	1	4.3
7	ハト	1	2.8
8	カモメ	1	2.1
9	ツバメ	1	1.4
	ツグミ	1	1.4
	ウグイス	2	1.4
	カラス	1	1.4
13	カイツブリ	1	0.7
	ホオジロ	1	0.7

調査地点		d	
順位	科名	種数	優占率 (個体数%)
1	カラス	2	45.4
2	ウ	1	19.6
3	カモメ	3	11.3
4	シギ	2	8.2
5	ハト	2	6.2
6	ツバメ	1	3.1
7	タカ	1	2.1
8	セキレイ	1	1.0
	ホオジロ	1	1.0
	ハタオリドリ	1	1.0
	ムクドリ	1	1.0

注) 優占率の合計は、四捨五入の関係により100.0%にならないことがある。